

2024 年 2 月 27 日

2023 年度聖路加国際大学大学院
看護学研究科課題研究

メンタルヘルス不調予防を目的とした職場環境改善を
促進する要因に関する文献検討
Factors Promoting Workplace Environment Improvement to
Reduce Mental Health Issues: A Literature Review

22-MN-026

堀越葵

要旨

〔目的〕本研究は、労働者のメンタルヘルス不調を予防するための職場環境改善の促進要因を明らかにすることを目的とした。

〔方法〕文献は医学中央雑誌 Web と PubMed を用いて検索した。検索用語及び検索式は、それぞれ（メンタルヘルス）and（職場環境）、（(Mental Health) and (Workplace or work environment* or Working Conditions) and(improv*）とし、文献の種類は、原著論文とした。検索で得られた 688 件の文献から、メンタルヘルス対策であり、職場環境の改善に関する取り組みについて記載がある文献を 15 件選定した。対象文献の出版年は 2006 年から 2021 年であった。その後、選定した文献を職場環境改善に関する要因について記述されている内容について文脈ごとに抽出し、コード化を行い、サブカテゴリ、カテゴリに分類した。

〔結果〕対象文献において、職場環境改善を促進する要因について分析を行った結果、7 カテゴリ（【一部の職員だけでなく職場全体で職場環境改善に取り組む】【職場に合わせた職場環境改善の計画を立てる】【職場について活発に話し合えるような意見を言いやすい環境をつくる】【職員同士で支え合う体制を整える】【職員の技術向上ができる環境やしきみを作る】【管理者の職場環境改善への理解を得て、管理者も職場環境改善に参加する】【職場環境改善の負担感を考慮し、無理のない取り組みを行う】）、23 サブカテゴリが抽出された。

〔考察・結論〕メンタルヘルス不調を予防するための職場環境改善を促進する要因を明らかにするために文献検討を行ったところ、管理者や職員が職場環境改善を行う必要性が理解できるように、メンタルヘルス不調予防についての意識改革となる教育や、良好な対人関係や職場の雰囲気を築けるようなコミュニケーション等の技術向上につながる教育の場を設定することの重要性が示された。このような取り組みにより、より良い職場にしていこうという意識が高まり、職場全体で実施する職場環境改善の取り組みにつながっていき、働きやすい職場風土の醸成につながる事が推察された。そのため、産業看護職は、メンタルヘルス不調予防に関する定期的な教育計画・活動に参加できるように関連部門と協働し、職員がメンタルヘルス対策に興味関心を示し、働きやすい職場になるよう職場環境改善につなげていけるような仕組みづくりに関与していく必要性があり、職場環境改善の実施が無理なく行えるような調整役割も担う重要性も考察された。